

神戸基金冊子(全体)

志高く学び、
グローバル社会に羽ばたいたために



国立大学法人神戸大学長
武田 廣 TAKEDA Hiroshi

神戸大学は、1902(明治35年)、世界に開かれた港都神戸・神戸に生まれました。以来、「真摯・自由・協同」の教育理念を掲げ、文理のバランスのとれた総合大学として近く120周年を迎えます。

神戸大学の学生には、先端研究の最前線で創造性と学識を深め、地球の課題の解決にリーダーシップを発揮できることを望みます。そのため本学では、グローバル教育プログラムの充実に取り組み、全学部にわたる「神戸グローバルチャレンジプログラム」をはじめ、世界に視野を広げるさまざまな機会を準備しています。また、各国の優秀な人材と先進的な情報を集約し、研究や交流の拠点となる「神戸大学インターナショナル・ハウス(仮称)」を創設し、グローバル・ハブ・キャンパスとしての機能を高める計画を進めています。

これらの実現には、国庫から大学法人への運営費交付金は不十分で、本学の基盤的経費の安定的な財源確保が前提となります。奨学金制度や学生の課外活動助成とあわせ、高い教育・研究レベルの維持と奇蹟も奇蹟という神戸大学ファミリーを、皆様からの理解とご賛同を賜わたく存じます。何卒趣意をご質問いただき、神戸大学基金にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

M. Takeda

高みを目指す学生への、頼れる経済的支援。

経済面で不安のない学生生活を送り、安定した修学の環境を整えるための基金に、お力添えをいただけませんか。
【神戸大学基金】は、学費や研究・留学などにかかる費用を助成し、学生の頑張る気持ちに応えます。

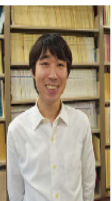


緊急奨学金制度が助けになりました。

永原 大輝さん 人文科学科 2017年大学2年生

2018年7月日本経済、下宿で学食完済の準備を進めていたとき、実家のある東京で大雨が降ったことによる洪水が襲いました。すべてを中断して3日後にようやく帰省できたものの、しばらく学費どころではありません。甚大な被害に悩んでいましたが、基大の緊急奨学金の告知があり、申請しました。私は大学院から神戸大学で学んでいますが、他大学よりも手厚い制度に感謝しています。実家の生活の再建はまだ途上ですが、学業に関しては、修士論文の完成など研究を進めることができ、今に至ります。

専門分野は日本の経済学です。外資系や経産省のアシスタントの位置が、どのような法則性に基づいて決まるのか、その要因は何なのか、といったことを、辞書やデータベースを用いた分析によって解明できればと思います。神戸大学の素晴らしい先輩方に学びたいです。研究の道を目指しています。

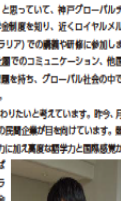


グローバルチャレンジにエントリー。

定立 和司さん 工学部 2018年入学

入学した当初は海外経験が、と聞いて、神戸グローバルチャレンジプログラムと奨学金制度を知り、近ロバ(ロバールボリック工科大学(オーストラリア)での履修や研修に参加します。10日間で、多文化圏でのコミュニケーション、他国の工学部との比較などの経験をもち、グローバル社会の中で自分の可能性を探ります。

将来は宇宙開発に関わりたくと考えています。昨今、月の資源探査や開発に世界中の民間企業が取り組んでいます。競争や協働には、知識や技術に加え実務能力と国際感覚が求められます。今回のプログラム参加はその第一歩で、基金のサポートは本当にありがたかったです。今は理工学部の基礎を学んでいますが、期待している分野がけがけです。学費のサポートや下宿ロケットの世界的な展開が楽しみです。大学の経験が、夢をかなえる近道になればと思っています。



公認会計士試験合格を目指します。

川合 良紀さん 経済学部 2018年入学

私は長崎県出身で、高校生の時に興味を持った経営学を学ぶ神戸大学に入学し、下宿生活を始めました。伝統ある経営学部で基本を徹底的に学びたいと、公認会計士試験の合格を目指しています。授業をしっかり勉強することで行って、1年次の6月に日商簿記3級、11月に2級を合格し、基大に在籍の基礎の学びを進めてきました。2年生で公認会計士の認定試験に合格することを目標に頑張っています。

勉強を優先してアルバイトの時間を取りたいのですが、神戸大学基金の奨学金をいただくことで、費用面での心配がなくなりやすくなりました。参考書の購入や外部講師の受講、書籍代など、学費を減らさず自分の実力を伸ばすには金銭的負担が大いにとこ、大きな支えもなく背中を押してくれたので、授業の単位も履修も多くなりました。将来を考え、さらにいろいろな知識や技術を身につけたいと思います。



ファミリーヒストリー 3代続いて神戸大学に



2019年に国際人間科学部に入学した江口祐美さんは、お父様(1991年3月経済学部卒業)、お祖父様の幸司さん(1961年3月経済学部卒業)と、3代続く六甲台の学生。実はお母様も卒業生という神戸大学ファミリーです。幸司さんには「息子のときも孫のときも、受験には口出ししなかった。自分で自分の道を歩きたい」と思いますが、「いつのまにか自分の所属の高校は『神戸大学』が思いがけず『お父さん』と祐美さん。そっ、日ごろのやり取りでこの行動

に『神戸大学人らしさ』が染み、影響したのでしょうか。「孫から『合格した』と聞いて初めて、神戸大学を受験していたことを知ったんです。3代目ってお祖母になるのも嫌だなと思ってました」と、お孫さんの学業の環境のために神戸大学基金にご支援をいただきました。今はお母様と暮らしながら、自分の学業の道を歩きたいと思っています。



輝くキャンパスライフを、力強くサポート。

学生生活を彩る課外活動。【神戸大学基金】は、クラブ活動やボランティアなどのフィールドで活躍し、「やりたいこと」「やるべきこと」の実現に取り組みする学生に寄り添い、人間的成長を応援します。



課外活動の新たな拠点に

【NOW】
【FUTURE】
【イメージ】

【「基盤事業」へのご支援・ご協力をお願いします。】



～国際大会で活躍～ 「オプショアセーリング部」

大型ヨットの学生世界選手権「Student Yacht World Cup 2017」で優勝するまで、世界の強豪と対峙しむり合ひオプショアセーリング部は、海洋科学部キャンパスを「母艦」として活動しています。2019年、全日本学生外洋航海選手権(ANORIUS CUP)での優勝、徳島県立大航海の学生世界大会(EDHC Sailing Cup)への出場、ディフェンディング・チャンピオンとして「Student Yacht World Cup 2019」と、日本を代表するチームとして認められています。



～史上初の全日本5強確～ 「女子タッチフットボール部 Rooks」

2019年1月、女子タッチフットボール日本一を決める「第24回全日本王座決定戦せくらボウル」が東京ドームで行われ、神戸大学Rooksが社会人代表チームを下し、5連覇となる栄冠の慶喜を飾りました。タッチフットボールは、アメリカンフットボールよりも小さいボールを使い、観戦も楽しいフィールドで行うゲームで、神戸大学では1994年から活動しています。



～被災地に寄り添う復興支援～ 「東北ボランティアバスプロジェクト」

【OB/OGと現役部員の熱き絆
体育会フィールドホッケー部】



OB/OGと現役部員の熱き絆 体育会フィールドホッケー部

2019年度関西学生ホッケーリーグの春季リーグ戦で2連覇を果たしたフィールドホッケー部。その中心は、卒業生の強いサポートがあります。「1部、2部リーグの激戦で人工芝グラウンドを持っていないのは本学くらい。激戦を乗り越えるには人工芝グラウンドを持っていないのも大きな課題」と語るのは、OB/OGと現役一線の部員「(甲子園クラブ)部員会長の江田結介さん(1993年3月経済学部卒業)。サポート歴から4年経った2018年に甲子園グラウンドの一部人工芝化プロジェクトを立ち上げると、1年で全国約200人の先輩から多数の賛助が集まりました。

